

平成 17 年 2 月 8 日

外科系学会社会保険委員会連合 御中

(社) 日本産科婦人科学会  
会 長 藤井信吾  
社会保険学術委員会委員長 植木 實

### 手術アウトカムと症例数に関するアンケート調査報告

本会では従来より施設基準手術設定数の調査を行ってまいりましたが、この度の手術アウトカムと症例数に関する調査につきましては、手術症例数に加えて手術に関する基礎データや生存率についてもデータを集積し解析致しました。

K850 (女子外性器悪性腫瘍手術)、K857 (膣壁悪性腫瘍手術)、K859 (造膣術)、K889 (子宮附属器悪性腫瘍手術)、K890-2 (卵管鏡下卵管形成術) の各々に関して、2003 年 4 月 1 日～2004 年 3 月 31 日における症例数、年齢、手術時間、出血量、術後在院日数を調査しました。また、子宮附属器悪性腫瘍手術につきましては、平成 11 年度に行った手術症例の予後 (5 年生存率) を調べました。日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導医施設 841 施設に別紙のようなアンケートを送付し、474 施設から回答を得ました (回収率: 56.4%)。症例数の分布は、子宮附属器悪性腫瘍手術では 0-66 例と施設により様々でありましたが、他の手術では 60-70% の施設が施行数 0 で、施行している場合も大部分が 1-3 例程度でした。そこで統計的処理が可能な子宮附属器悪性腫瘍手術に関して詳細に解析しましたところ、平均症例数 9.5 例、平均年齢 54.4 歳、平均手術時間 3.4 時間、平均出血量 942.4 ml、平均術後在院日数 43.9 日でありました。また、5 年生存率は平均 63.7% でおおむね正規分布を示しました。次に、症例数と施設病床数、年齢、手術時間、出血量、術後在院日数、5 年生存率各々との関連性を回帰分析しましたところ、全てにおいて有意な相関関係は見られませんでした。今回のアンケートでは平成 11 年度の手術症例で 5 年生存率を算定しているため、厳密な意味での比較はできませんが、少なくとも本調査では症例数と 5 年生存率には有意な関連性はない (相関係数 0.09、P 値 0.086) ことが判明しました。以上より、子宮附属器悪性腫瘍手術においては施設症例数とアウトカム (予後) は相関しないことが結論されました。

# K850 女子外性器悪性腫瘍手術

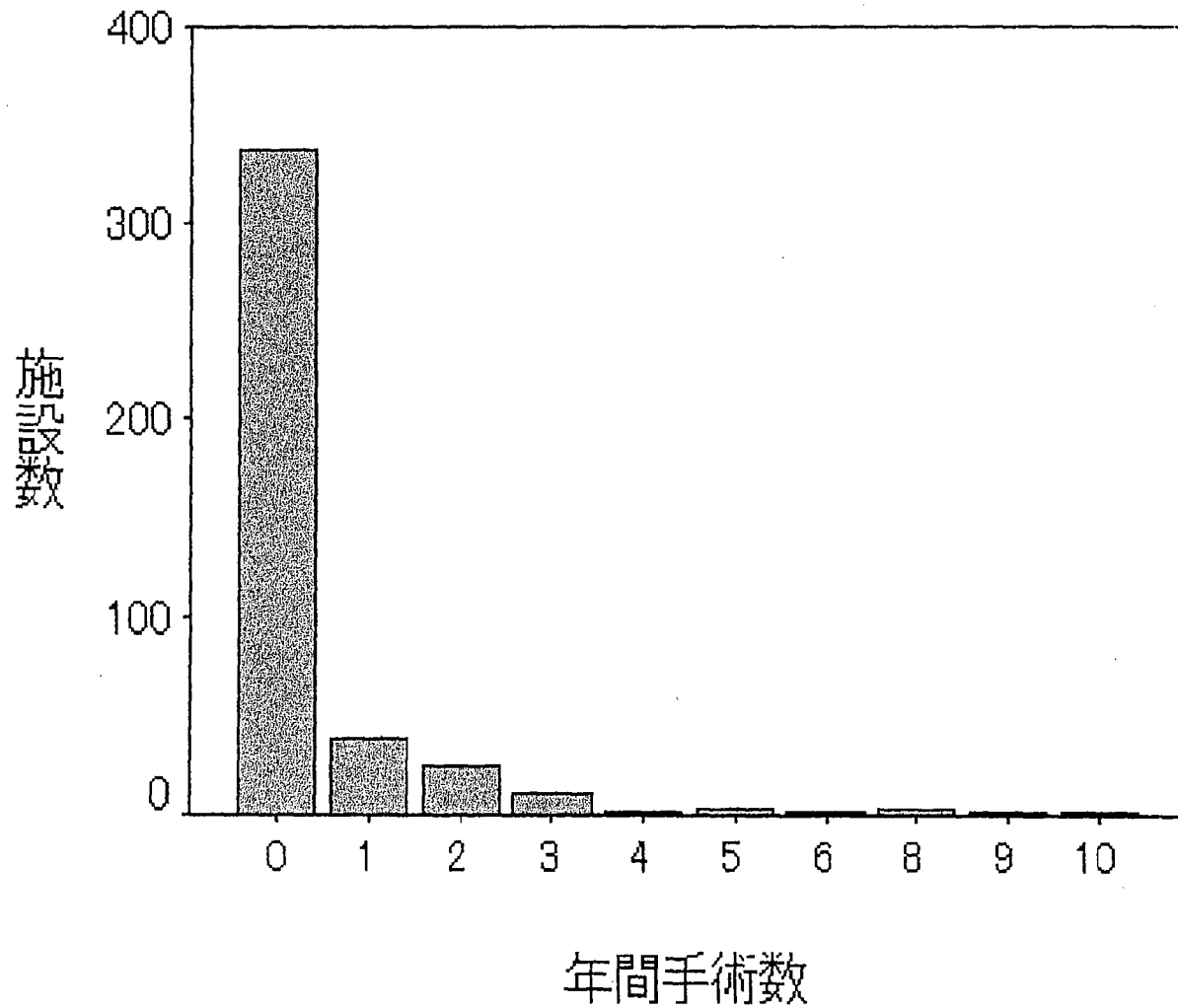


図1 女子外性器悪性腫瘍手術症例数の分布

K857 腔壁悪性腫瘍手術

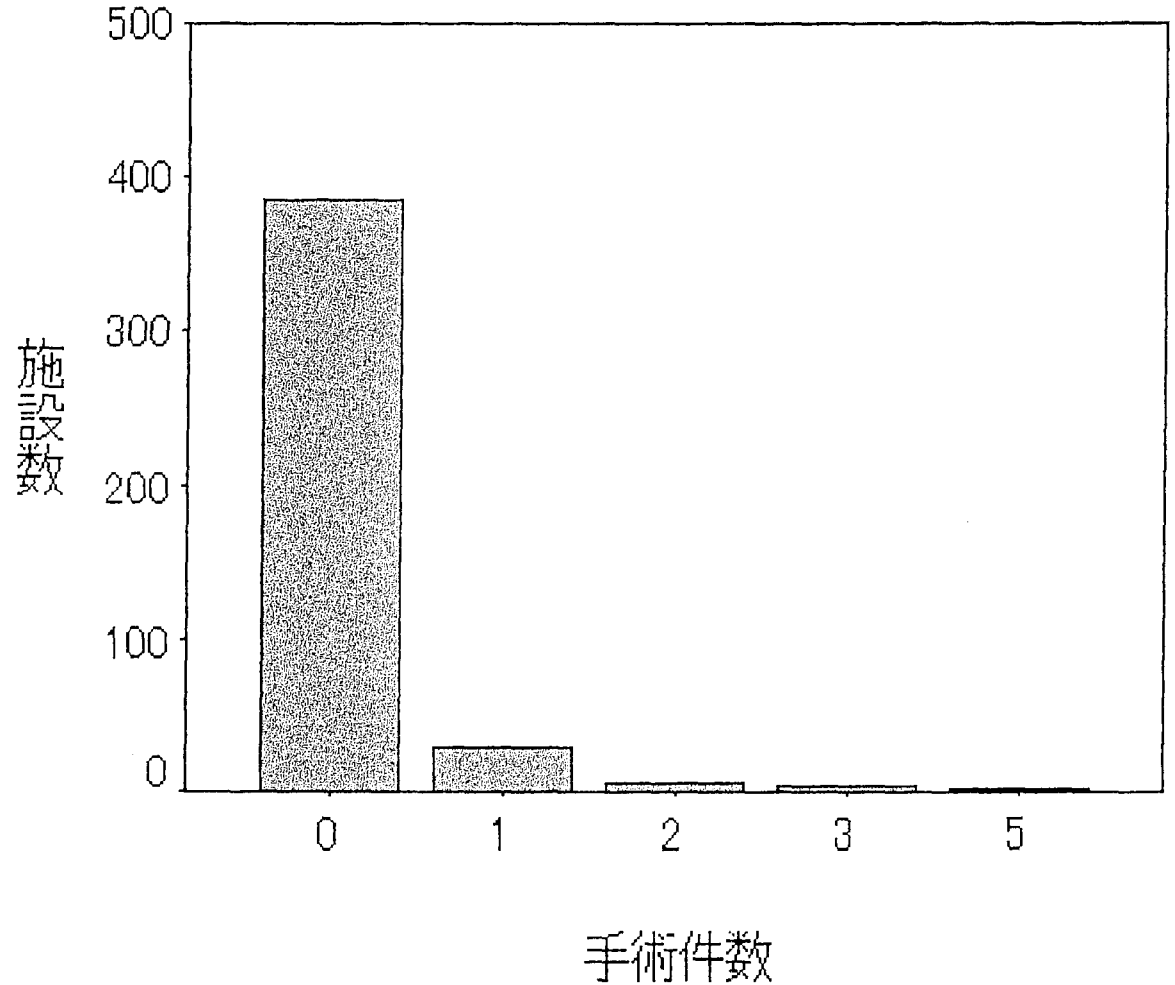


図2 腔壁悪性腫瘍手術症例数の分布

### K859 造脘術

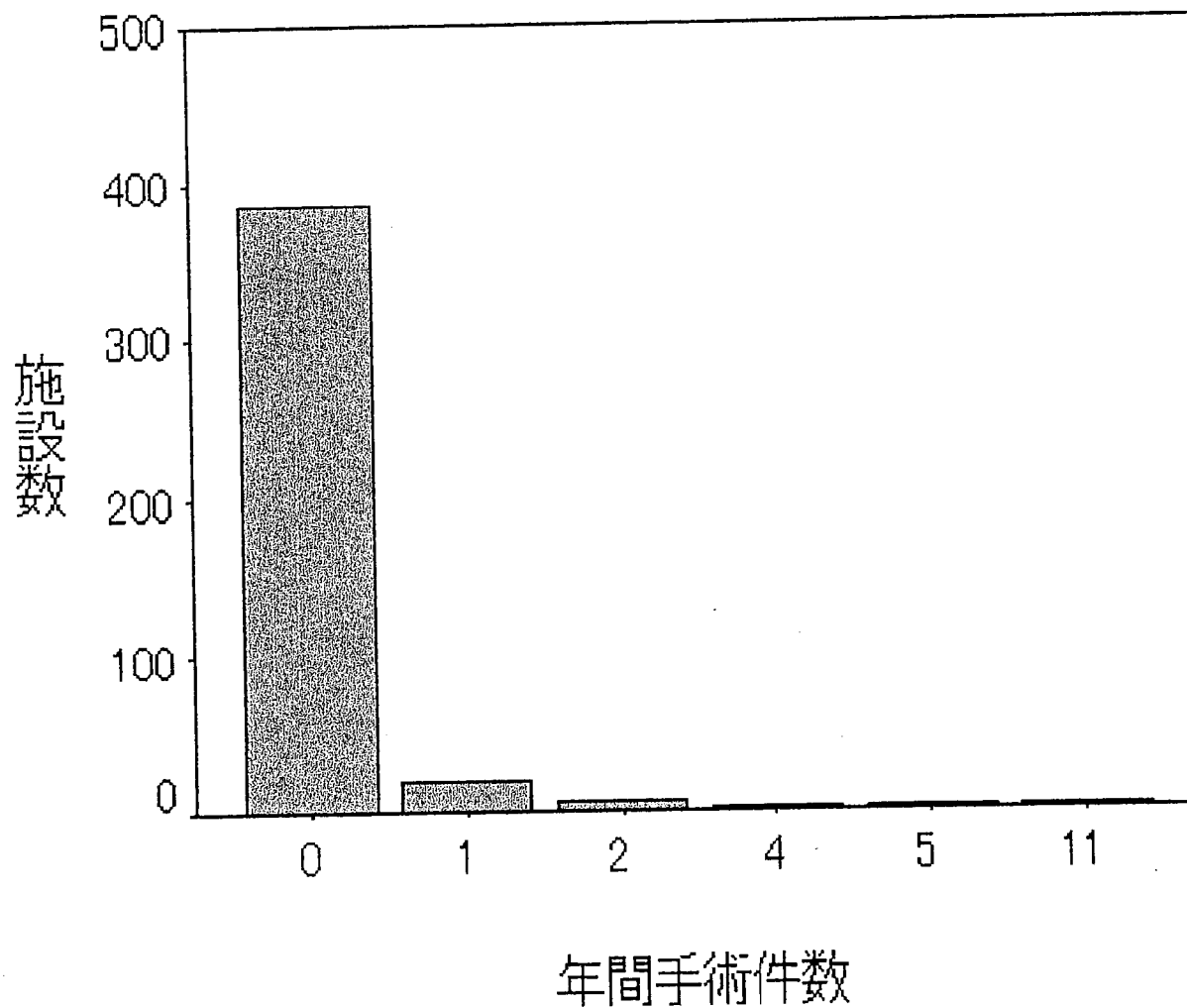


図3 造脘術症例数の分布

K889 子宮附属器悪性腫瘍手術

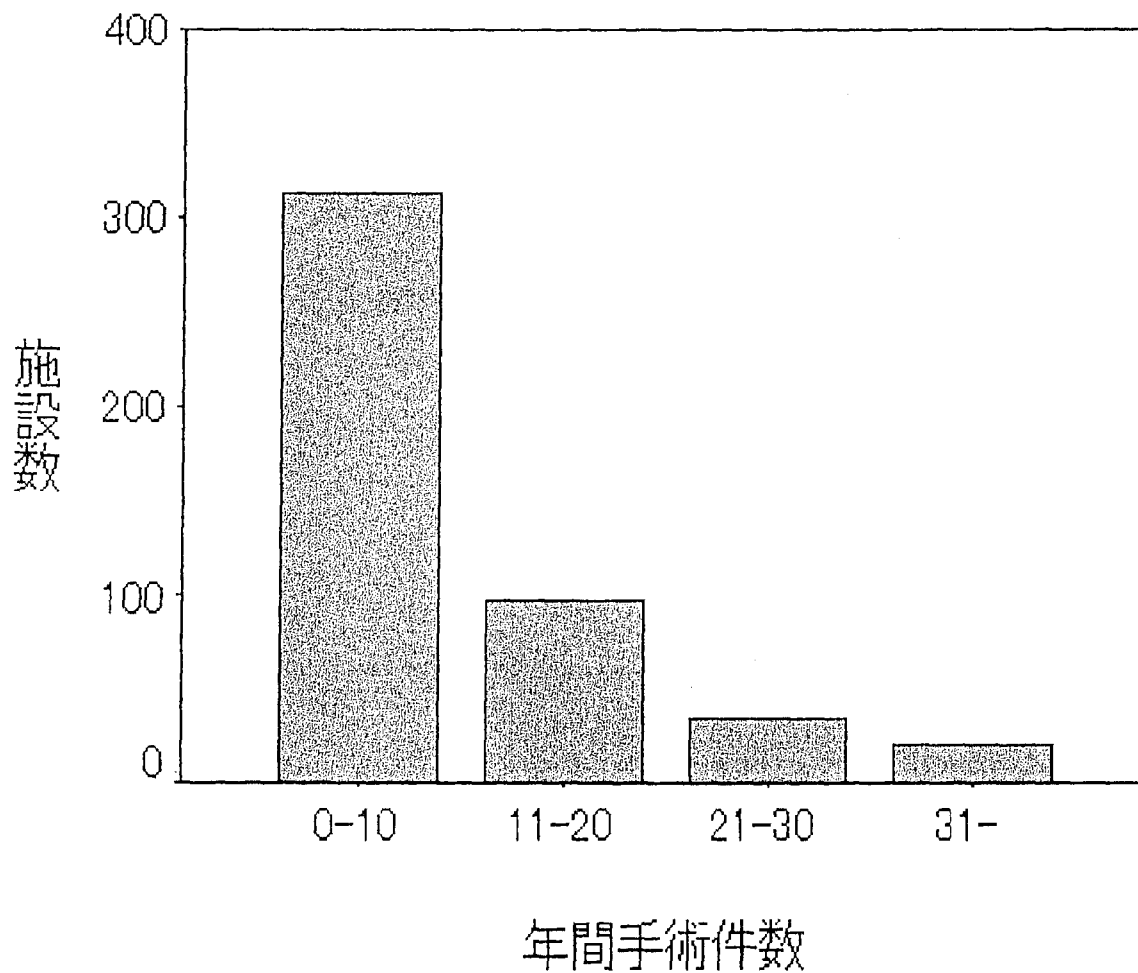


図4 子宮附属器悪性腫瘍手術症例数の分布

### K890-2 卵管鏡下卵管形成術

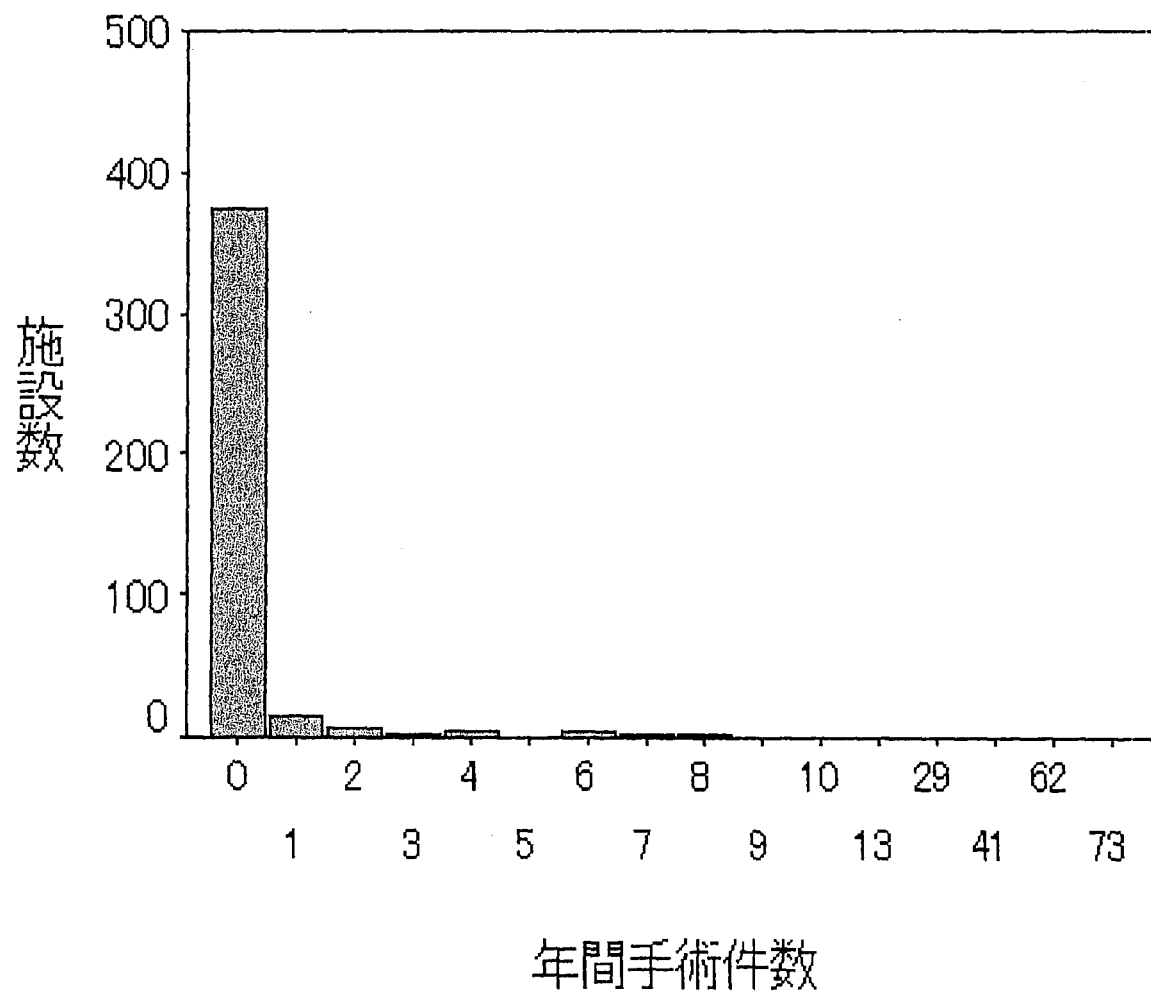


図5 卵管鏡下卵管形成術症例数の分布

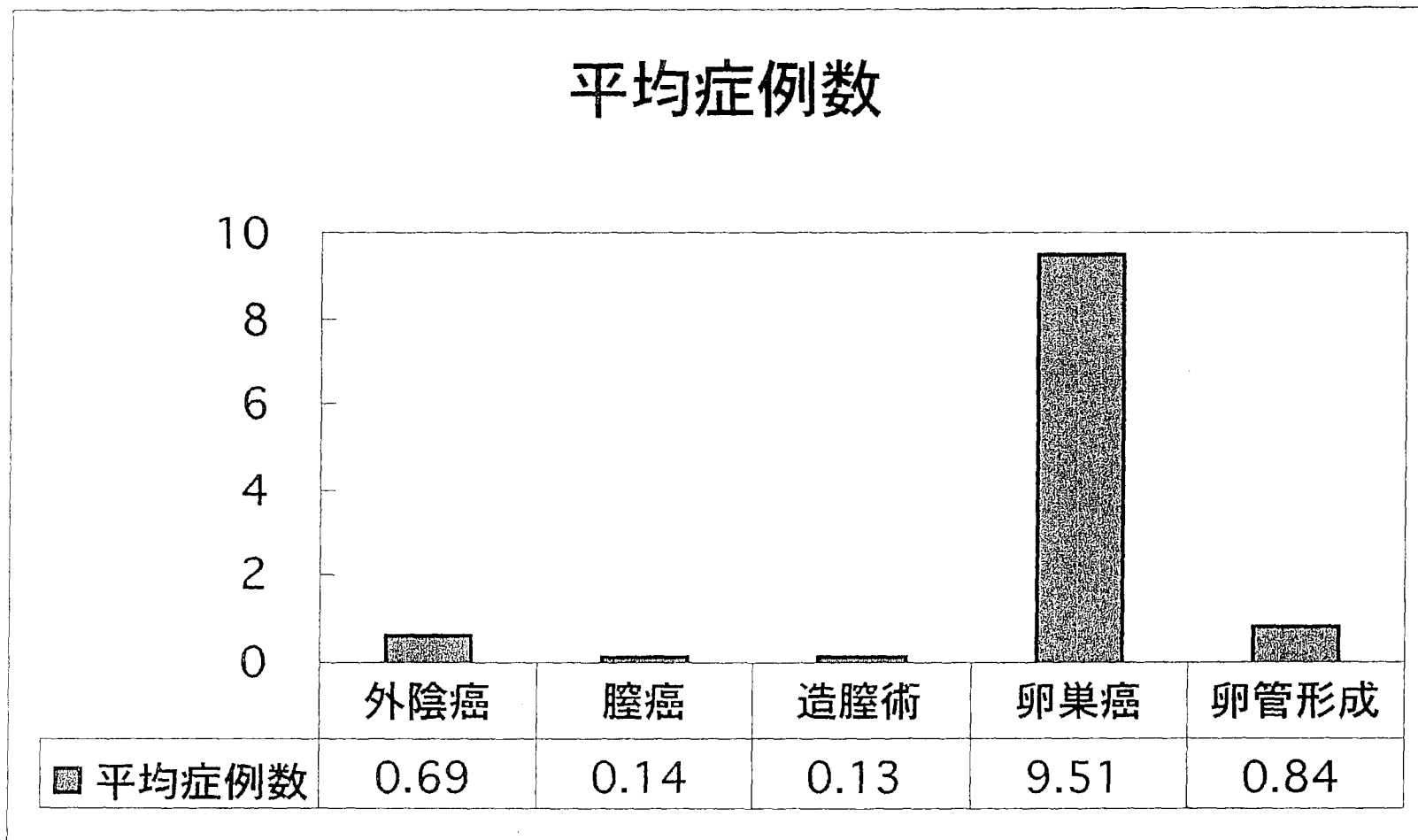
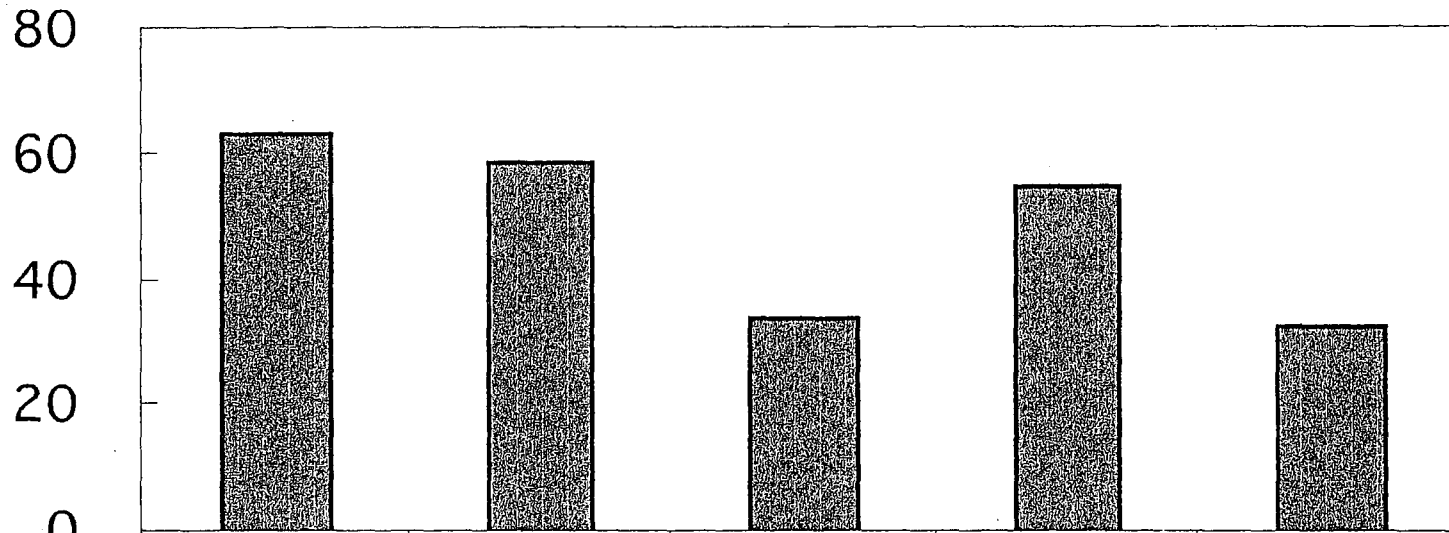


図6 各手術群における平均症例数

# 平均年齢



■ 平均年齢	63.27	58.70	34.12	54.44	32.43
--------	-------	-------	-------	-------	-------

図7 各手術群における平均年齢



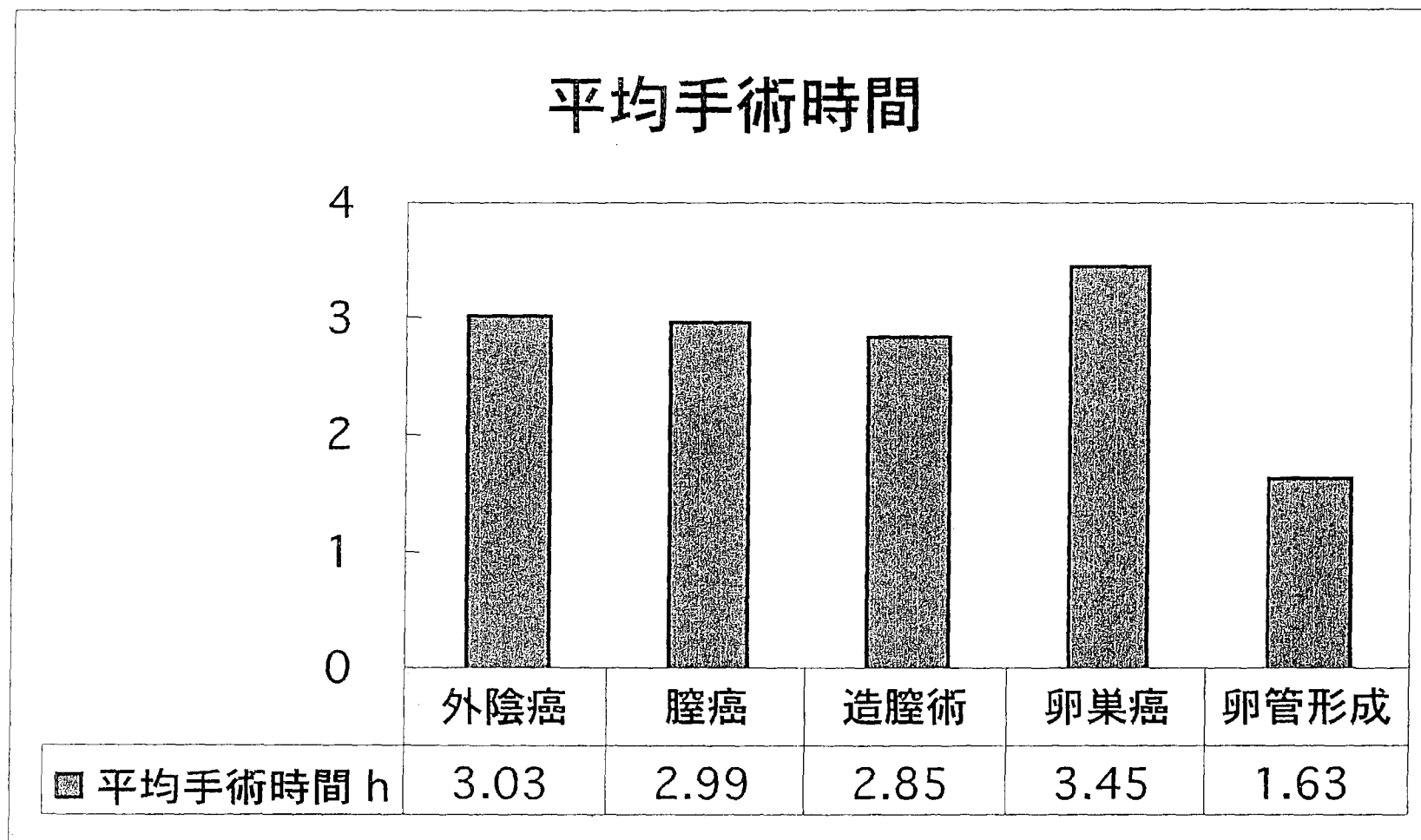
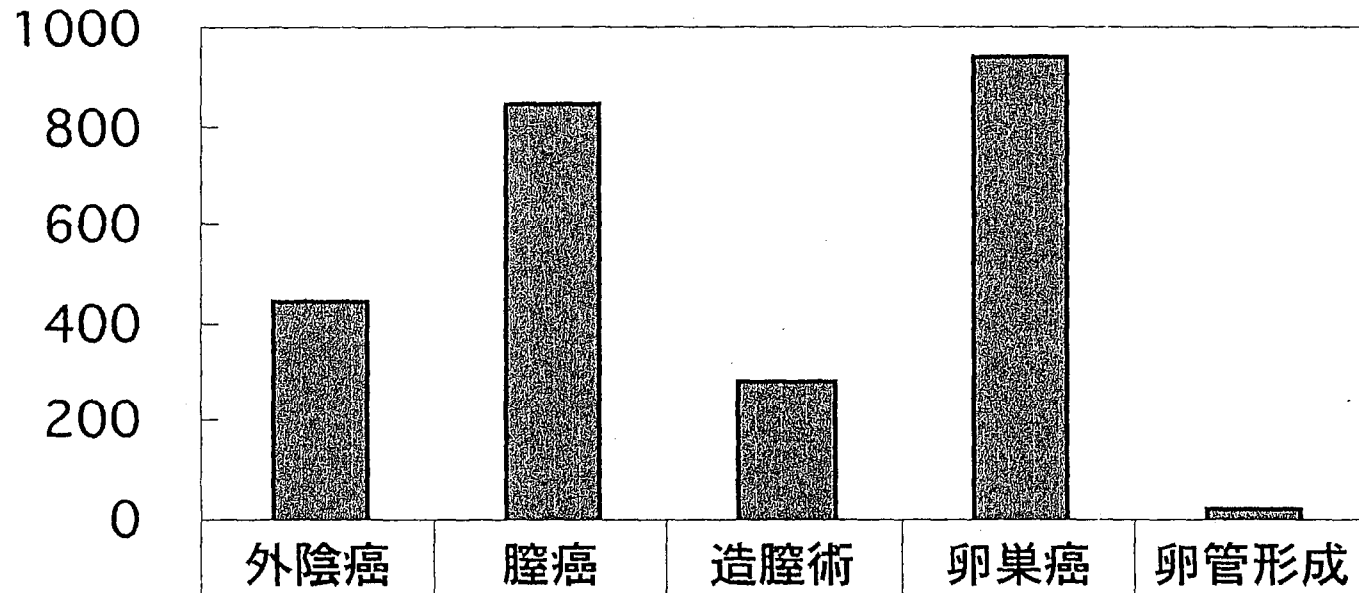


図8 各手術群における平均手術時間

# 平均出血量



■ 平均出血量 ml	444.10	844.63	286.69	942.40	21.76
------------	--------	--------	--------	--------	-------

図9 各手術群における平均出血量

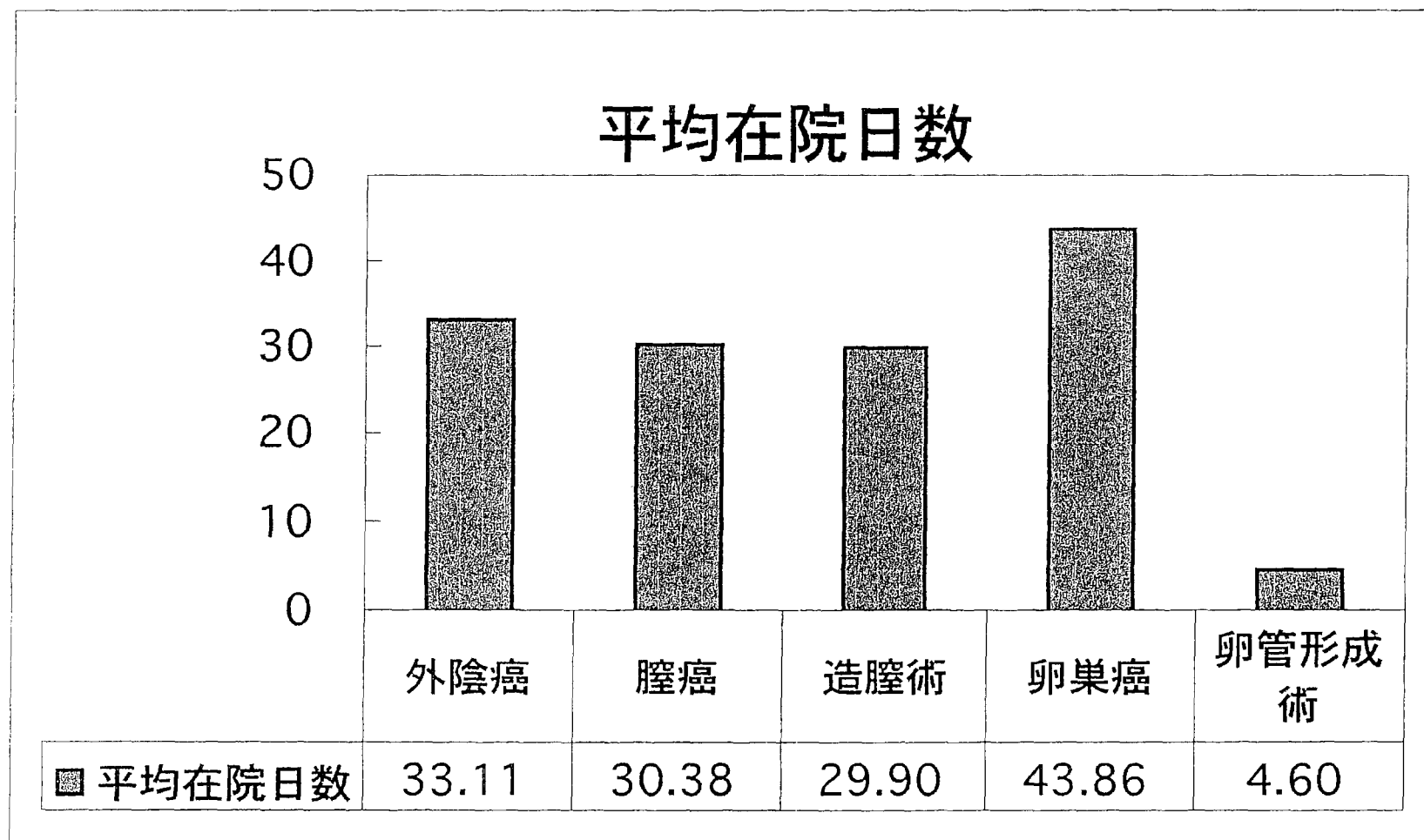


図10 各手術群における平均術後在院日数

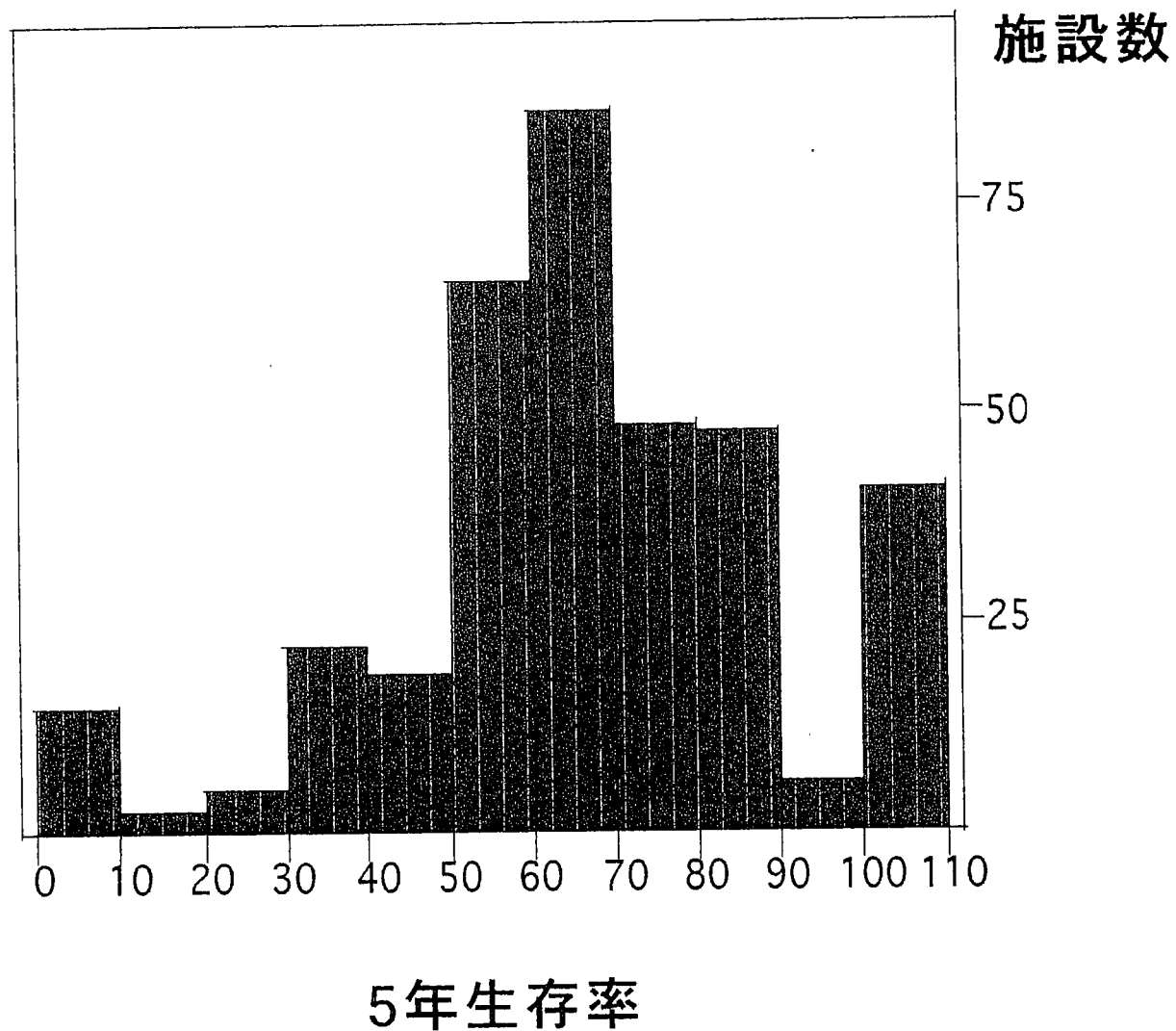


図11 各施設における卵巣悪性腫瘍5年生存率の分布

表1 各手術群における基礎データ一覧

	外陰癌	膣癌	造膣術	卵巣癌	卵管形成術
平均症例数	0.69	0.14	0.13	9.51	0.84
(中央値)	0	0	0	6	0
平均年齢	63.27	58.70	34.12	54.44	32.43
(中央値)	68	60	22	54	31
平均手術時間 h	3.03	2.99	2.85	3.45	1.63
(中央値)	2.90	2.55	2.55	3.00	2.00
平均出血量 ml	444.10	844.63	286.69	942.40	21.76
(中央値)	215	420	140	760	0
平均在院日数	33.11	30.38	29.90	43.86	4.60
(中央値)	28	24	18	30	5
回答数	424	423	416	464	417

表2 子宮附属器悪性腫瘍手術における各関連因子相互の相関

病床数	相関係数	1							
	有意確率 (両側)	.							
症例数群	相関係数	.377(**)	1						
	有意確率 (両側)	0	.						
卵巢癌数	相関係数	.485(**)	.829(**)	1					
	有意確率 (両側)	0	0	.					
患者年齢	相関係数	-0.017	-0.08	-0.07	1				
	有意確率 (両側)	0.743	0.117	0.169	.				
手術時間	相関係数	0.077	.122(*)	0.1	0.017	1			
	有意確率 (両側)	0.135	0.017	0.05	0.735	.			
出血量	相関係数	0.083	.175(**)	.215(**)	0.039	.535(**)	1		
	有意確率 (両側)	0.108	0.001	0	0.456	0	.		
在院日数	相関係数	0.057	0.041	0.082	0.055	.189(**)	.186(**)	1	
	有意確率 (両側)	0.283	0.437	0.122	0.298	0	0	.	
5 生率	相関係数	0.001	0.09	0.022	-.110(*)	0.039	0.029	0.074	1
	有意確率 (両側)	0.988	0.086	0.677	0.042	0.478	0.599	0.189	.
		病床数	症例数群	卵巢癌数	患者年齢	手術時間	出血量	在院日数	5 生率

\* 相関係数は 5% 水準で有意 (両側)

\*\* 相関係数は 1% 水準で有意 (両側)